

学校と地域が手をつなぐ

～学校支援地域本部事業の活用に向けて～

このワークブックは、DVD 教材「学校と地域が手をつなぐ」の補助資料として作成されたものです。DVD での学習と併せて利用することが想定されています。それぞれの学習目的に合わせて、以下のページを活用してください。

- **これから学校支援地域本部事業に取り組む方** 2
 - ＜対応する DVD のチャプター＞
 - 第 1 部 学校支援地域本部とは
 - 第 2 部 学校支援地域本部を立ち上げる

- **既に学校支援地域本部事業に関わっている方** 4
 - ＜対応する DVD のチャプター＞
 - 第 1 部 学校支援地域本部とは
 - 第 3 部 よりよい学校支援のために

- **学校支援の今後の活用について考えたい方** 6
 - ＜対応する DVD のチャプター＞
 - 第 1 部 学校支援地域本部とは
 - 第 4 部 学校支援のさらなる可能性

これから学校支援地域本部事業に取り組む方

第1部 学校支援地域本部とは

- 1-1 学校支援地域本部事業のねらい
- 1-2 学校支援地域本部事業の特徴
- 1-3 学校支援地域本部事業の効用
- 1-4 取組の具体例

学校支援地域本部事業とはどんな事業で、何がねらいなのでしょう。

「学校や教員が忙しいから、地域住民が手助けをしよう」という単純なものではありません。地域住民が学校に関わることで、学校の教育活動への理解は深まります。普段の生活では体験できない活動や、接点のない地域の人たちと出会うこともできます。

この教材のタイトル「学校と地域が手をつなぐ」という言葉が表すように、学校支援活動を通じて、「地域の子どもたちを『私たち』が育てる」という気持ちを持つことがねらいなのです。

演習問題1（教員・行政職の方もお考え下さい）

自分が関わる学校で、学校支援地域本部事業を始めた場合、どんな良い影響がありそうですか？教材を参考にしながら、想像してみてください。

演習問題2（教員・行政職の方もお考え下さい）

お友達を学校支援活動に誘う時、なんと誘いますか？また、あなたはなんと誘われたら、やってみよう！という気持ちになりますか？

第2部 学校支援地域本部を立ち上げる

- 2-1 なぜ学校支援地域本部を作るのか
- 2-2 学校支援地域本部を構成するメンバー
- 2-3 学校支援地域本部のルール作り
- 2-4 ボランティアの人材確保
- 2-5 スペースや資源の準備
- 2-6 できる時に、できる所から

ボランティアとひとくちに言っても、様々な背景を持った他人どうしの集まりです。そんな他人どうしが、学校教員とも連携しながらチームとして学校支援活動を行うのですから、最低限の枠組やルールが必要です。

つまり学校支援地域本部を立ち上げることは、すなわち「枠組」と「ルール」を作ることだとも言えます。そして、集まった人が継続的に関わられるように、ボランティアの居場所を作ることも大切です。

そして、できることから少しずつ成功体験を積み重ねていけば、いつかは「学校支援活動」が当たり前ものになっていくでしょう。

演習問題3（教員・行政職の方もお考え下さい）

ボランティアの居心地を良くするために、どんな工夫が実現できそうですか？考えてみてください。

演習問題4（教員・行政職の方もお考え下さい）

学校支援地域本部を立ち上げたら、まずはどんな支援活動からスタートしますか？現実的に「できそうだ」と思うものを挙げてください。

既に学校支援地域本部事業に関わっている方

第1部 学校支援地域本部とは

- 1-1 学校支援地域本部事業のねらい
- 1-2 学校支援地域本部事業の特徴
- 1-3 学校支援地域本部事業の効用
- 1-4 取組の具体例

学校支援地域本部の活動は、コーディネーターを中心として「学校支援活動を継続させる仕組み」を作ることが目的の1つとなっています。具体的な活動が軌道に乗ったら、今のやり方が「特定の先生」や「コーディネーターの人脈」に依存し過ぎてはいないか、と考えてみてください。

また、学校支援活動を続けていくためには、関わっている人が「関わってよかった」と思えることが大切です。これまで行ってきた学校支援活動によって、学校・地域のどこにどんな良い影響があったかを、教材を参考にしながら考えてみてください。

演習問題1（教員・行政職の方もお考え下さい）

学校支援地域本部事業に特別な予算がつかなくなった後も、このような活動を続けていくためには、どんな工夫が必要だと思いますか？

演習問題2（教員・行政職の方もお考え下さい）

学校支援地域本部事業に関わって、学校（地域）について新たに知ったこと・感じたこと・抱いた思いなどを書いてみてください。

第3部 よりよい学校支援のために

- 3-1 「地域に開かれた学校」の難しさ
- 3-2 互いのことを知る
- 3-3 互いの文化を理解する
- 3-4 コーディネーターとのコミュニケーションを増やす
- 3-5 柔軟性を持った体制作り
- 3-6 学校と地域が「パートナー」の関係になるために

学校支援をより円滑に進めていくためには、様々な信頼関係が必要です。

学校と地域の信頼関係はもちろん、コーディネーターと教員、コーディネーターとボランティア・・・など、様々な信頼関係ができなければ「パートナー」として共に活動していくのは難しいものです。常に「相手の立場に立って」「相手の考え方に寄り添って」歩み寄りながら信頼関係を築いていこう、という気持ちが大切になります。

教材では、そのための様々な取り組みを紹介しています。

演習問題3（教員・行政職の方もお考え下さい）

あなたが人を「信頼できる」と思うのは、どんなことがあった時ですか？

演習問題4（教員・行政職の方もお考え下さい）

これまで学校（地域）に関わってきた中で、「初めて知ってびっくりした」「当たり前だと思っていたことが、当たり前ではなかった」といった事柄を書いてみてください。

学校支援地域本部事業の活用について考えたい方

第1部 学校支援地域本部とは

- 1-1 学校支援地域本部事業のねらい
- 1-2 学校支援地域本部事業の特徴
- 1-3 学校支援地域本部事業の効用
- 1-4 取組の具体例

学校支援の今後の活用について考えるにあたって、一度振り出しに戻ってみてください。そこには「地域の教育力の向上」という大きなテーマがあります。では、地域の教育力とは何でしょうか？

それは「この地域を良くしよう」「この地域の未来を担う子どもたちをちゃんと育てよう」という思いを持っている人が多いことではないでしょうか。「地域の教育力の低下」とは、地域への無関心や、学校・子どもたちへの無関心であるとも言えます。

そんな観点を持ちながら、学校支援地域本部とは何なのか、教材を通してもう一度考えてみてください。

演習問題1（教員・行政職の方もお考え下さい）

いま住んでいる地域には、「この地域を良くしよう」という思いを持っている人が何割くらいいると感じていますか？

演習問題2（教員・行政職の方もお考え下さい）

どうすれば、「この地域を良くしよう」と思っていない人たちを、学校支援活動に誘い込む（巻き込む）ことができると思いますか？

第4部 学校支援のさらなる可能性

4-1 学校が「まち」の中心になる

4-2 より豊かな社会、よりよいまちを作るために

学校支援地域本部事業は、これからの時代の「新たなまちづくり」を見据えた取り組みです。

「地域社会の崩壊」の原因の一つに、それまで「まちの中心」としての役割を担っていた場所がなくなったことが挙げられます。住んでいる地域内に、遠慮なく気軽に集える場所がなくなってしまったのです。

しかし、その「まちの中心」の役割を、学校ならば担える可能性があります。子どもを持つ家庭は多くが学校に関わりますし、卒業生にとってはどこか親しみのある場所です。ほんの少しの工夫で、学校は「地域みんなが集まる場所＝まちの中心」になることができるのです。

演習問題3（教員・行政職の方もお考え下さい）

学校支援地域本部の活動を通じて、あなた自身にはどんな学びがありましたか？そして、今後どんな学びがあると期待していますか？

演習問題4（教員・行政職の方もお考え下さい）

学校支援活動を通じて、自分が関わる「まち」を、どんなまちにしたいと思いますか？自分なりに書いてみてください。

■このワークブックの使い方

DVD 教材を、ただ漠然と視聴するだけでは豊かな学びは得られません。しっかりと問題意識を持ち、「～～について知りたい」という気持ちを持って視ることが大切です。

お一人で、または仲間うち数人で DVD 教材を使う場合には、事前にワークブックのコメントと演習問題に目を通し、自分なりに考えながら教材を視聴してください。そして、視聴し終わったら自分なりに結構ですから、演習問題に対する答えを書いてみてください。

コーディネーター・教員・行政等の研修会でこのワークブックを使う際は、各部ごとのコメントを読んだ上で DVD を視聴し、演習問題について考えた後にグループで討論をするなど、意見交換の時間を設けると効果的です。それぞれの演習問題は「正解」のあるものではありませんが、他の人の考え方や思いに触れることは大きな学びになると共に、実際の活動の参考にもなります。

学校支援地域本部事業のように、試行錯誤しながらよりよい形を模索していく取り組みの場合、様々な人に触れてコミュニケーションを取り、実際に経験してみることに勝るものはありません。この DVD 教材とワークブックも、視聴した方がそれぞれに考え、人とコミュニケーションを取り、実際にやってみよう！という一歩を踏み出すための道具に過ぎないのです。

この DVD 教材とワークブックが皆さんのお役に立てば幸いです。

■このワークブックを増刷したい場合

この教材の制作を行った、NPO 法人 USEC の WEB サイトから、PDF ファイルをダウンロードすることができます。

<http://www.u-school.jp> にパソコン等からアクセスし、PDF ファイルをダウンロードしてください。

学校と地域が手をつなぐ ～学校支援地域本部事業の活用に向けて～

DVD 教材・ワークブック

発行 NPO 法人 u-School 推進コンソーシアム

東京都新宿区高田馬場 2-14-2 新陽ビル 7F TEL : 03-5155-7578 <http://www.u-school.jp>